

## 平成 29 年度ジャパンリンクセンター運営実績

平成 30 年 3 月 31 日

ジャパンリンクセンター運営委員会

### 1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務<sup>1)</sup>

#### (1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を四半期に 1 回、合計 4 回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した<sup>2)</sup>。

#### (2) 分科会

表 1 に掲げる分科会を設置し、委員会の審議を円滑に進めるため、同表に掲げる項目について審議を行った。

表 1. 平成 29 年度の分科会活動状況

分科会（開催日）	審議項目
サービス企画分科会 (9/5, 10/16, 11/16, 1/16)	「ジャパンリンクセンターストラテジー 2017-2018」に対するロードマップの策定
システム技術分科会 (8/8, 11/10)	「ジャパンリンクセンターストラテジー 2017-2018」に対するロードマップに対するシステム面からの検討

#### (3) メンバーミーティング

1 月 10 日にメンバーミーティングを開催した。

<sup>1)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項4号

<sup>2)</sup> ジャパンリンクセンターweb サイト 「JaLC について」 > 「JaLC 運営委員会」  
([https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about\\_committee](https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about_committee))

## 2. サービスの開発、運用および管理<sup>3)</sup>

### (1) サービスの開発

次の開発を行った。

表 2. 平成 29 年度の新規開発項目

項番	開発・検討項目	内容
1	次期 JaLC システムの開発に向けた検討	次期 JaLC システムの開発に向けた検討
2	機能改修	<b>①日本語標題の Crossref デポジット方式の変更</b> JaLC の日本語標題を Crossref に「Original title」(翻訳されたコンテンツの原題)としてデポジットしているが、JaLC と Crossref のデータ項目の対応づけを見直し日本語標題を「Title」としてデポジットするよう改修した。 <b>②研究データのサブジェクト対応</b> 現状の JaLC で用いている NII データを登録する時のデータ変換処理では研究データに対するサブジェクト(主題)は扱えないので、サブジェクトを扱えるよう変換ツールを改修した。

### (2) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施した。

<sup>3)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項2号

### 3. DOI 登録機関業務<sup>4)</sup>

#### (1) 入会対応等

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出しを行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 3 のとおりとなった。

表 3. 会員数および DOI 登録件数の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
正会員数 (機関)	21	25	29	37
準会員数 (機関)	944	1,131	1,518	1,765
DOI スキーマ毎の登録件数 (件) (種別毎の内訳)	3,023,504	3,189,377	3,457,584	5,330,029
・ 論文	2,789,095	2,937,916	3,193,160	4,941,494
・ 書籍、報告書	234,409	248,488	261,175	309,559
・ 研究データ	-	1,545	1,719	75,875
・ e ラーニング	-	1,427	1,520	1,891
・ 汎用データ	-	1	10	1,210

- ・ 正会員数、準会員数とも堅調な伸びを示している。正会員は公的研究機関、医学系の学会、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や、大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 各会員による DOI 登録が着実に進んでいる。平成 29 年度の大口の登録例としては、J-STAGE 利用学会の論文等約 150 万件、大学紀要を始めとする機関リポジトリに登録された論文等約 10 万件、NDL によるデジタル資料等約 1 万件、正会員である医学中央雑誌刊行会が取り纏める医学系学術論文出版社の論文等約 3 万件、国文学研究資料館の古典籍資料等約 5 万件への DOI 登録があった。

<sup>4)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項1号

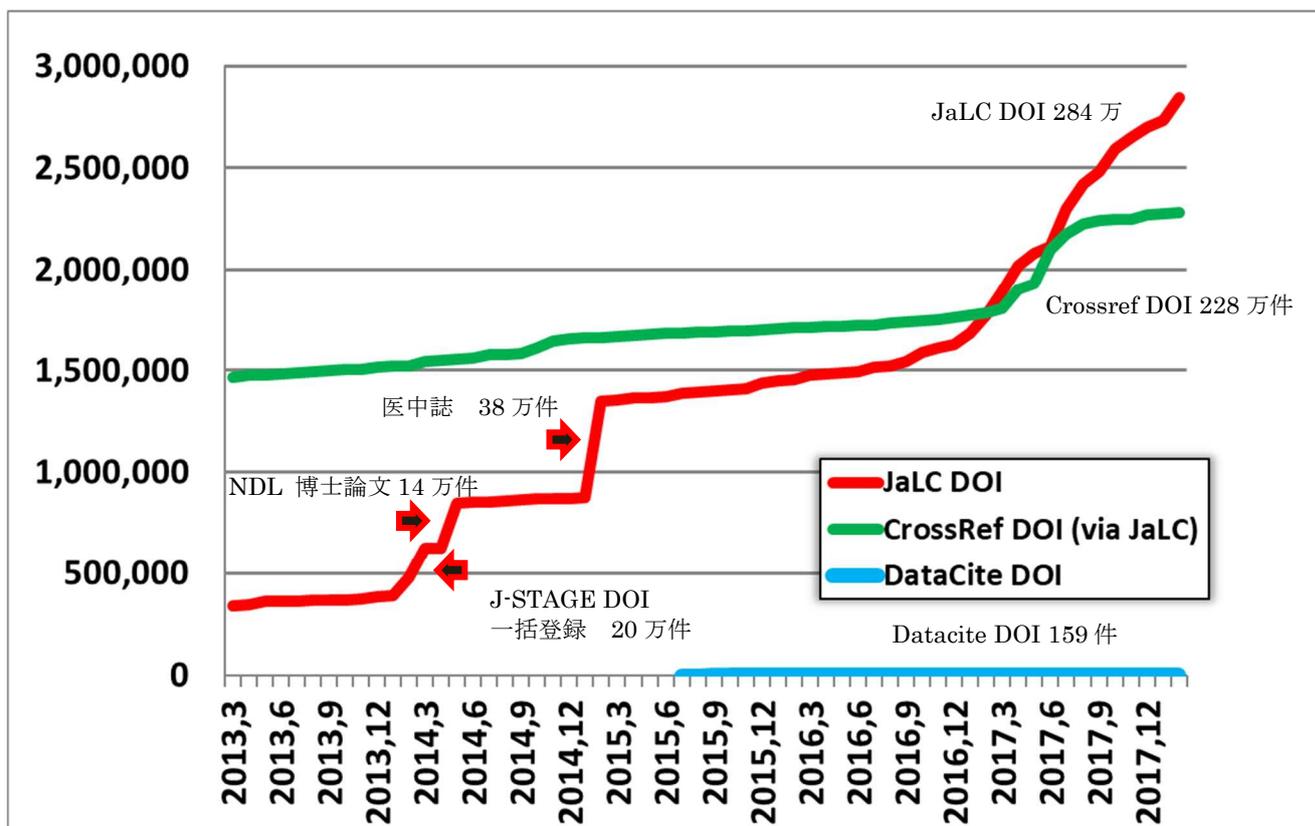


図 1. DOI 登録件数の推移

## (2) 入会説明会の開催

これまで、正会員の入会希望の申し出を受けて、個別に入会説明やデータ登録デモを行ってきた。昨年度から入会説明会を開催し入会対応業務の効率化を図っている。説明会の終了後には、個別相談会も開催した。

#### 4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務<sup>5)</sup>

##### (1) 「研究データ利活用協議会」に関する規約等の制定

平成 28 年 6 月 3 日に設立した「研究データ利活用協議会」(RDUF: Research Data Utilization Forum) について運営規則および参加規約を策定し、RDUF の運営体制を明確化させるとともに、JaLC の特別部会として位置付け、ガバナンスの強化を図った。

##### (2) 海外機関からの JaLC 入会申し込みへの対応の決定

当面、海外機関を正会員とはしないが、情報交換や技術交流は積極的に行っていくこととした。

##### (3) DOI 取り下げ依頼に対する対応方針の決定

一旦、登録した DOI は無効にしないことを確認したうえで、取り下げる場合には DOI のリダイレクト先は対象コンテンツが存在しないことを記載した Web 画面（墓標 (Tombstone) ページ）とすることとした。

##### (4) JaLC データのオープン化の検討

JaLC ストラテジーで謳われている JaLC に登録されたメタデータのオープン化に向けて、正会員へのアンケート調査を行った。今後、これをもとに JaLC データのオープン化に向けた方針を検討していく。

##### (5) DOI prefix の公開開始

平成 28 年度運営委員会（第 1 回）の決定に基づき、会員毎の DOI prefix の一覧の公開を開始した。

##### (6) 普及・広報

表 4 のとおり外部発表を行い DOI の普及・広報を行った。

表 4. 平成 29 年度の普及・広報

1	RDUF 公開シンポジウム ～オープンサイエンスを巡る世界の最新動向～ (6 月 26 日)
2	専門図書館協議会 イブニングセミナー 講演『DOI (デジタルオブジェクト識別子)』(9 月 21 日) (関連記事) <a href="https://japanlinkcenter.org/top/doc/senmontoshokan287.pdf">https://japanlinkcenter.org/top/doc/senmontoshokan287.pdf</a>
3	日本分類学会連合集会における講演 (1 月 6 日)
4	ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(第 4 回) (1 月 10 日)

<sup>5)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第 2 条 2 項 5 号

5	デジタルアーカイブ学会 (ポスター発表)「デジタルアーカイブにおける DOI 活用の可能性」(3月9日 10日)
---	--

— 以 上 —